

が事業費の大半を占めている。今回、補助事業での取組を予定しているため、地元住民の用地に対する同意、賛同を得たいということ用地測量業務委託料を計上した」との答弁があった。

○建築物耐震改修促進計画策定業務委託料について

「この委託料はどうか」との質疑に対し、「耐震基準から外れた、昭和56年以前の建築物を、A、B、Cの建築物に分け、Aを学校関係、病院、官公署等、Bを危険物貯蔵施設等、Cを道路沿いの民家等に分類し、例えば地震が起きたとき、どういう影響を及ぼすかなどの調査をし、整備計画を策定するための委託料である。今後、教育部と連携を図りながら策定に向けて取り組んで参りたい」との答弁があった。

●平成20年度宇城市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

○施設改良費について

「この工事の箇所と内容はどのようなものか」との質疑に対し、「豊野町上巢林簡易水道の配水池に、水量を確認するための水位計の設置と、豊野支所において、配水池の水位が確認できる、テレメータシステムを設置する費用である」との答弁があった。

●平成20年度宇城市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

「流域下水道維持管理負担金714万8千円の増額の原因は何か」との質疑に対し、「小川町から八代流域処理場に流入する汚水量が当初計画から7万7086t増加したものである増額で、前年度実績に基づいて本年度精算するという方法によるためである」との答弁があった。

民生常任委員会

●平成20年度宇城市一般会計補正予算(第2号)

○健康増進事業費の委託料について

「減額の理由は何か」との質疑に対して、「今までは、脳検診自己負担金として病院に支払われていたお金を、歳入として受け入れ、市の財源と併せて、検診料を病院に支払っていた。職員が現金を取り扱うことや非常に手間がかかることから、病院には自己負担金を差し引いて支払うこととした。そのため、脳検診自己負担金3千円の2千人分、600万円見込んでいたものを減額したものである」との答弁であった。

○建設改良費等出資金について

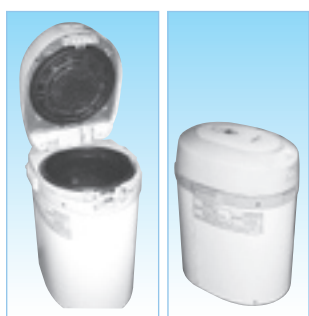
市民病院改修費1219万9千円の内訳は何か」との質疑に対し、「病棟屋上防水改良

工事に約680万円、事務室増築工事に委託料約540万円を含めて計上している」との答弁であった。これを受け委員から「先日、常任委員会の視察で、病院を見せてもらった。確かに雨漏りがあり、衛生面において非常に心配である。また、事務所も手狭で、書類が煩雑している。予算が成立したら早急に工事に取り掛かり、充実した病院経営ができるようにすべき」との指摘があった。

○電動生ごみ処理機購入費補助金について

「40万円計上してあるが、何台分を想定しているのか」との質疑に対して、「17年度21台、18年度22台、19年度10台分の補助金支払の実績により、1台あたり最高限度額2万円の補助で20台分の予算を計上した」との答弁であった。さらに、委員から「担当者が、

電動生ごみ処理機を見たことがないという上での説明を受けたが、これでは説得力はないし、PR不足は否めない。自分の目で見て、確かめて、もつと普及するようにPRに努めるべき」との意見があった。



電動生ごみ処理機

文教常任委員会

●平成20年度宇城市一般会計補正予算(第2号)について

教育費の小学校費及び中学校費について、「耐震診断の予算がそれぞれ計上されているがどのような内容か。また、その診断の結果に対してどのような対策を講じるのか」と

の質疑に対して、「今回は2次診断であり、改築予定の不知火中学校体育館及び豊野小学校以外の耐震診断が済んでいない小・中学校全棟を対象として診断する。その診断の結果が、阪神・淡路大震災と同規模の地震がくれば危険とされるIS値0.3以下の場合、21年度、22年度の2か年においてすべて補強を行いたい」との答弁があった。また、「以前、三角センターで問題となったアスベストは、吹き付けるだけでなく、天井や壁などの建築資材にも含まれている場合があるので、再度確認すべきではないか」との指摘に対して、「前回アスベストが問題になった時調査をしているが、再度調査をする」との答弁があった。

●平成20年度宇城市奨学金特別会計補正予算(第1号)について

「もう少し魅力ある奨学



耐震診断が予定されている小野部田小学校



議長就任の挨拶をする横井里月議員(前)と續裕衣臨時議長(後)

中学生による子ども議会が、8月1日(金)市内各中学校から代表6人計29人(欠1人)が参加し、議場において開催された。子どもたちは宇城市の取組や構想について質問し、執行部の答弁を通じ理解を深め、一市民としての意識を高めた。

三角中学校

●観光について

問(續裕衣議員) 西港にイベントやコンサート等の企画を取り入れたらいいと思うが、観光の活性化に向けてどのような考えをもっているか。

市長 東港を中心に西港と結ぶ観光面、教育、行政などの機能を持った三角港としての発展を期して参りたい。

問(井上称光議員) 以前、三角町で行われていたトライアスロン大会やマラソン大会が復活することはないのか。

市長 トライアスロン大会は豊野町で、マラソン大会は、近隣で行われている大会が定着しているのが現状であるが、今後検討していく。

●エコバッグについて

問(松川智議員) エコバッグの普及がスーパ―をはじめコンビニであり進んでないのは何故か。



三角中の子ども議員

市民環境部長 レジ袋を有料化することで店舗間の競争が不利益になるから進んでないのではないかと思う。推進体制を確立し、市民挙げての取組みとなるよう努めていく。

問(中尾圭佑議員) エコバッグ利用者増進対策をして、何か考えているか。

市民環境部長 PR活動を強く推し進める。ショウガの繊維を使ったオリジナルエコバッグを製作中である。